

くじ引きの方法

落札者（落札候補者）が2者以上同額となった場合の「くじ」による落札者の決定は、以下のとおり行う。

1 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄に、入札書提出時にあらかじめ任意の3桁の数字「000～999」を記入する。（全ての桁に記入が必要）

なお、1文字でも記入のない場合や2文字でも判別できない数字がある場合などは、質疑書の提出順の下1桁を連続した3桁として取扱う。

注) くじ番号の取扱い例

質疑書の提出順	記入されたくじ番号			くじ番号が判別できる場合	1文字でも記入のない場合又は1文字でも判別できない場合
1	8	7	5	875	111
3	2	6	9	269	333
2	1	1	9	119	222
6	4	0	0	400	666

2 くじの手順

- ① 同額入札者の質疑書の提出順に0から始まる「抽選番号」（0, 1, 2, 3, …）を付与する。
※質疑書の提出順については、当組合にFAXにて提出のあった質疑書に記載されている通信時間（FAX送信年月日及び受信時間）等を基準として決定する。
- ② 同額となった入札書に記入された「くじ番号」を合計し、その合計額を同額入札者の数で除し、「余り」を算出する。
- ③ 上記①の「抽選番号」と上記②の「余り」が一致した者を落札者（落札候補者）とする。

4者が同額入札を行った場合のくじ手順（例）

- ① 「抽選番号」を付与する。

業者名	質疑書の提出順	付与された抽選番号
A業者	1	0
B業者	3	2
C業者	2	1
D業者	6	3

- ② 「くじ番号」の合計を同額入札者数で除し、「余り」を算出する。

業者名	くじ番号
A業者	875
B業者	269
C業者	119
D業者	400



余りの算出
$875 + 269 + 119 + 400 = 1,663$ $1,663 \div 4者 = 415 (余り \dots 3)$

- ③ 落札者（落札候補者）を決定する。

業者名	付与された抽選番号	余り	落札者（落札候補者）の決定
A業者	0	3	—
B業者	2		—
C業者	1		—
D業者	3		落札者（落札候補者）

くじ番号を付す入札書の記入例

くじ番号 1 1 9

- ・「000～999」の任意の3桁の数字を記入すること。
- ・1文字でも記入のない場合や文字の判別がつかない場合は、受付番号の下1桁を連続した3桁として取扱う。(くじ引きの方法参照)

入 札

金 額 (消費税抜)	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円

- ※ 下記(工事費内訳)の「E 工事価格(合計)」を上記に記載してください。
- ※ 金額の頭初に「¥」を必ず記入してください。

ただし、〇〇〇工事

入札保証金 免除

上記のとおり入札します。

開札年月日 令和 年 月 日

奈良県広域消防組合
管 理 者 様

所 在 地
商号又は名称
入 札 者 名

⑨

工 事 費 内 訳				
工事区分・工種・種別	数 量	単 位	金 額(円)	備 考
A 直接工事費	1	式		
1) 建築工事	1	式		
2) 電気設備工事	1	式		
3) とりこわし工事	1	式		
4) 処分費	1	式		
B 共通仮設費	1	式		
C 現場管理費	1	式		
D 一般管理費等	1	式		
E 工事価格(合計) (入札金額・消費税抜) (A～Dの合計額)				

- ※記載の項目全てについて、金額を記載してください。
- ※誤字・脱字・未記入のないように記載してください。